

平成25年度当初予算教育費主要事業

宇佐市教育ビジョン策定事業

「大人が学び、子どもたちが学ぶ教育の郷」を目指し、教育委員会の基本方針・重点目標・事業方針を分かりやすく明示し、教育委員会内部、地域住民、保護者に周知を図る。【231千円】

学校施設環境整備活動支援事業

PTA等が自主的・積極的に「足とアイデア」を駆使して取り組み、その環境整備を支援するために必要な資材等を支給する。【6,540千円】

小学校遊具整備事業

教育環境の充実を図るため、計画的に複合遊具、個別遊具を設置する。【14,000千円】

小学校校舎改築事業

老朽化が著しい現校舎の早期改築を行い児童の安全確保を図る。対象校：和間、長洲、八幡、高家、四日市北小学校 【891,664千円】

天津小学校屋内運動場改築事業

昭和49年に建築された現屋内運動場は耐力度調査の結果、倒壊の恐れがあるため、改築を行い、児童の安全確保を図る。【47,956千円】

学力向上支援コーディネーター事業

授業改善についての支援及び中学校間や中学校と小学校との連携により、基礎学力の向上及び応用力の育成を図るため、学力支援コーディネーターを配置する。【10,187千円】

武道用武具備品整備事業

新学習要領の完全実施に伴う、中学校の保健体育科における武道の必修化に対応するため、教材及び備品の整備を行う。今年度は柔道用の備品整備 【12,841千円】

中学生短期留学事業

国際化社会を担う豊かな国際感覚を身につけた人材を育成するため、ホームステイ等を通じ、生きた英語に触れながら生活様式、風習などを学ぶ中学生の海外派遣事業を行う。【4,592千円】

学校支援地域本部事業

高い専門性や技能を持った地域の人材を講師に招き、児童生徒の興味や関心を喚起し、意欲的に学習に取り組む力を育むなど、学校・家庭・地域の協働により児童生徒の学びをサポートする。【7,264千円】

競技力向上プロジェクト

各種大会の誘致による交流人口の拡大及び県民体育大会成績アップなど、競技力の向上並びに児童・生徒を中心としたジュニアの育成を図るため、授業計画策定や民間体育施設の利用補助、市民の応援の環境づくりなどの各種取り組みを行う。【1,700千円】

国宝宇佐神宮本殿、境内保存修理事業

全国八幡宮の総本宮である宇佐神宮の歴史的景観の保全のため、現在取り組んでいる境内の保存修理と併せて桧皮屋根の損傷が著しい本殿の修理を行う。【17,200千円】

特別天然記念物オオサンショウウオ保存管理計画策定事業

特別天然記念物オオサンショウウオの生息地の保存・管理を行うため、専門家等で構成する調査委員会を組織し、平成26年度にかけて保存管理計画の策定を行う。【3,005千円】

宇佐海軍航空隊等戦争関係資料保存活用事業

生涯学習や平和学習の教材として活用するため、宇佐海軍航空隊関連関連の戦跡資料を保存管理や公開することで、戦争の悲惨さや平和の尊さを伝える。【5,936千円】

宇佐の歴史出版事業

宇佐市の魅力を、市民をはじめ、他市町村や全国にPRを図るため、新宇佐市が誕生してから来年度で10周年を迎える記念の時期(平成26年度末)に合わせ、新しい「宇佐ふるさとの歴史」を刊行する。平成25年度は機運を高めるため、宇佐の歴史展示会や記念講演会などの記念事業を開催する。【2,315千円】

郷土の偉人顕彰事業

郷土の誇りである先覚者の業績を周知・顕彰するため、本年度は、日本一の石橋の町を築いた石工棟梁「松田新之助」にスポットを当て、マンガ本の観光や文化講演会などの記念事業を開催する。【5,857千円】

管理課

- 教育委員会の活性化
- 学校耐震化事業の推進
- 安全・安心な学校環境整備など

図書館

- 図書館サービスの充実
- 読書活動の推進
- 宇佐の歴史出版事業
- 郷土の偉人顕彰事業

教育委員会の基本方針

学校教育課

- 「地域に開かれた特色ある学校」づくりの推進
- 生きる力・自ら学ぶ力・豊かな心の育成
- 人権意識の高揚と差別の解消を目指す人権教育、共感的人間関係を育てる心の教育の推進
- ふるさと「宇佐」に誇りをもてる人づくりの推進
- 安全・安心の学校づくり
- 学習環境の整備・充実
- 信頼される教職員の育成

社会教育課

- 社会教育の推進体制の充実
- 青少年教育・家庭教育など
- スポーツの普及啓発活動の推進
- 競技力向上の取組
- 文化財保存整備、保存管理計画策定

学校給食課

- 学校給食の充実
- 安心・安全の確保
- 適正な給食会計

4月の主な行事予定

日	曜	行 事
3	水	教委定例課長会議
8	月	小中学校1学期始業式
10	水	中学校入学式
11	木	小学校入学式
12	金	幼稚園入学式
12	金	スポーツ推進委員委嘱状交付式
24	水	定例教育委員会
25	木	校長・所長会
26	金	教頭会
~14		双葉山生誕100年記念事業終了報告展示会
~30		「被災地福島の今」写真展

図書館

中学校卒業式

告 辞

野山に早春の息吹が感じられるこのよき日に、本校の栄えある卒業証書授与式が盛大に挙行されるにあたり、宇佐市教育委員会よりお祝いのことばを申し上げます。

卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。また、この日を我がことのように待ち望んでこられた保護者の皆様のご感激も一入のことと存じます。心からお慶び申し上げます。

さて、本日卒業証書を手に入れました皆さんは、義務教育9カ年の過程を修了され、それぞれの未来に向けて歩き始めることとなります。門出の時を迎え希望と不安が交錯していることと思いますが、夢の実現に向けて精一杯の努力を願うところです。

これからの時代は、国際化、情報化がさらに進展するとともに多くの価値観が主張される社会となることが予想されます。このような社会の中で生き抜くことは大変なことと思われまますが、自らの考えを持ち、他の人の考えも尊重して、お互いの合意を形成する能力が何よりも求められるものと思われまます。

株式会社東レ経営研究所の特別顧問である佐々木常夫氏は、ある講演の中で「何事においても3年で物事が見えてくる。30歳で志をたてる。」そして、「その志を実現するためには小さい頃に教わったことをきちんとできる人だと思ふ。」と考えを述べています。それは、

「人に会ったらあいさつをしなさい。」
 「みんなと仲良く遊びましょう。」「仲間はずれをしてはいけません。」
 「うそをついてはいけません。」
 「間違っことをしたら勇気を持ってごめんなさいといいなさい。」
 「時間をきちんと守りなさい。」

このように「当たり前なことを当たり前きちんとできる」人こそがこれからの時代を生き抜くリーダーになれる人です。皆さんが、将来、自分の生き方を模索する場面に出合った時、この5つのことを振り返り、周りの人々との関わりを大切にしていけばきっと道が開けるものと思います。終わりにになりましたが、子どもと一緒に日夜教育にご尽力された先生方のご努力、また保護者の皆様方の教育委員会に寄せられましたご支援、ご協力に深く感謝申し上げ、卒業生の皆さんの輝かしい前途に幸多かれと心より願い、教育委員会の告辞といたします。

小中学校にお茶の贈呈



2月5日(火)に千財農園さんより小中学校でうがい用に粉末のお茶(50g)を1000袋頂きました。毎年ありがとうございます。子どもたちの風邪予防に役立てております。



第55回記念県内一周大分合同駅伝競走大会が22日(金)安心院支所前をスタートし、市内を通過しました。沿道よりたくさんの声援のもと、各郡市の選手が力走いたしました。総合成績は宇佐市チームは16郡市中14位でした。



3月17日(日)にいんない石橋マラソン大会を行いました。招待選手 坂本直子(天満屋陸上競技部) 参加者 914名



2月9日(土)大分市のレンブラントホテルにて、「運動部活動地域連携再構築事業実施状況説明会」が開催され、杵築市で取り組んでいる中学校合同女子サッカー部の実施状況等の報告が行われました。

また、大分市内で合宿中のでしこJAPANの佐々木監督、のでしこメンバー3名が挨拶にみえました。

うさ教育・家庭・読書の日

学力向上の取組として、昨年教育委員と市長との意見交換会の中で「ノレテレビ、ノゲームの日をつくることはできないだろうか?」「家庭の日を設けたらどうなのか?」など意見が交わされました。今年度、家庭の日と読書を絡めて、家庭、学校、PTA、教育委員会との連携を図ります。

